

2021年10月14日

「青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地としない条例」制定を求める県民の会

第4回運営委員会 会議報告

《開催日時》 2021年10月6日(水)17時～ Zoom 会議
《参加者》 共同代表5名を含む22名

議 題

1、「核のゴミいらない」県民集会の開催について

青森県を核のゴミ捨て場にしないために、原発、核燃推進政策から、脱、原発・核燃サイクル政策に転換されるよう「原発等に頼らない暮らしをつくる」プラン提案活動を進めていることから、県民の理解と賛同を得られるプランの提案をめざして県民集会を開催します。

日時 2021年12月11日(土) 午後13時～

場所 ハートピアローフク(労働福祉会館)大会議室 青森市 予約済み

収用人数 216名 (但しコロナ対策で100名?)

- ・メインは青森労福会館になります。
- ・オンラインでの分散(地域毎に集まったのオンライン開催も検討)

集会内容

- (1) 講演 講師 山崎 隆敏氏 (福井県、元越前市議・反原発市民団体)
演題 『なぜ、「原発で若狭の振興」は失敗したのか』
県民的対話のための提言
書籍 「福井の山と川と海と原発」
「生き残れない原子力防災計画」 等々
- (2) プラン中間報告 14テーマ(14人)で提案を作成中
その中の数人により、中間報告と意見交換をする。

県民集会成功に向けて

- ・会員へのお知らせのための通信作成 (署名・カンパのお願いも)
- ・チラシ作成(各団体へ配布) 1,000枚~2,000枚 (10月下旬までに)
- ・マスコミへ取材等の依頼
- ・漁協、農協等、関係者にも呼びかける。

具体的な取組については、青森市在住の運営委員が中心になり、取り組むこととする。
第1回目の打ち合わせ会議を下記の日程で開催。

日時 11月9日(水)午後2時より

場所 ハートピアローフク(労働福祉会館)

青森市在住の運営委員の方はできるだけ参加して下さい。

2、長谷川講演会、日程について(案)

コロナ感染拡大のために延期した、8月28、29日の長谷川公一氏の講演会を下記の日程で開催する。

- ・青森会場 日時 2022年3月26日
- ・八戸会場 日時 2022年3月27日
- ・講演会の内容は当初計画のとおりを開催する。
テーマ「持続可能な地域をつくる→六ヶ所村と青森県の未来」

延期のお知らせはメール、郵便、マスコミで周知。

しかし 当日 28日青森会場は 5人

29日八戸会場は 1人 会場に来た方がいました。

- ・両会場とも、キャンセルだと、料金返納なし、延期で再申込だとそのまま利用できるということもあり、会場の使用状況で上記の日程で開催します。予約済み
- ・再度講演会案内のチラシを2月上旬に作成します。

3、署名集約状況と署名収集活動について

コロナの状況を勘案すれば、街頭を含め組織だった署名活動は、難しい状況にありますが、署名収集に力を入れていきます。

- ・署名目標 10万筆としています。

現況では厳しい状況ですので、年明け早々には集中行動期間を設定するなどして県内分の署名に力を入れる。

- ・ネット署名にも、力を入れる。SNSでの配信を会員にお願いし、広めていく。
- ・街頭署名は難しいですが、街頭宣伝やチラシ配布等で署名を呼び掛ける。
- ・各団体での組織内署名に取り組む。(これから集約する団体もありますので再度呼びかける。)
- ・個人での手紙作戦などでの収集

2021年9月10日現在	県内	8,846筆
	県外	3,552筆
	ネット署名	285筆
	計	12,398筆 です。

各団体の署名収集活動についての報告や意見

- ・平和労組は総会后12月集約を目標に取り組んでいる。具体的な数字はまだです。
- ・生協では、1時間ごとのアナンスで呼びかけての店内署名を取組んだが、やはり対面でないと書いていただくのは難しい。今は学習会に力を入れている。年明けに署名に力を入れていく

い。医療生協はほとんど署名が回収になっている。生活クラブ生協も署名用紙は配付済み。その他、生協でも取り組みの違いがあり、再度どのような取組がいいか検討している。

- ・県労連では署名用紙は配布済みで、これから回収と再度要請をする。
月、3回青森市さくら野前で街頭署名を取組んでいる。毎回30分
- ・阻止実は毎月1回さくら野前での街頭署名活動を連続して取組んでいる。
- ・原告団では会員にニュース発送に合わせて呼びかけ署名が届いている。
- ・青森駅前毎週金曜行動での署名の呼びかけしている。
- ・県民の会としても、再度、街宣・街頭署名を計画してほしい。
- ・ホームページでの署名もなかなか集まらない。どうしたらいいのかと、フェスブック広告を利用して署名を取組んでみた。1週間で2000名が見てくれたが、署名をしてくれる人は少人数。財政もかかるので、それぞれ自分の持っているフェスブック等を利用して呼びかけることも大切だと思う。
- ・若い人たちに問題意識を持ってもらいたい。どうしたらいいのかな。
- ・大学で「核燃と原発」をテーマで渡辺 監督の上映会、ディスカッションはできるが、署名には続かない。青森県に住んでいるのに核燃のことを知らない若い人がいる。どうしたらいいか考えている。例えば、再生可能エネルギー等の問題ではサークルができるが原発がだめだとわかっている、原発に関するようなサークル等はできない。
- ・ネット（フェスブック・SNSツイッター）など意識的に取組んでいく必要があると思う。
他の運動体の例などを確認して生かしていきたい。

などなどの報告や意見が出されました。署名提出まで、1年を切ったので、精力的に取り組むことを確認。

4. 財政について

財政が厳しい状態です。2つの講演会費用で底をつくおそれがあります。

会員増加、カンパ要請にご協力ください。

2021年8月31日現在 収支報告

収 入		支 出			
会 費	529,000	会議費（会場費）	28,220	運営委員会他	
カ ン パ	240,000	結成総会（記念講演）	149,191	講師謝礼 10万会場費等	
		チラシ署名印刷代	183,534	チラシ・幟等	
		活動費	54,767	街宣（車借料運転日当等）	
		〃（六ヶ所行動）	56,609	透明袋他・昼食代他	
		消耗品費	11,142	コピー用紙他	
		郵送費用	60,638	切手・ゆうパック他	
		講演会（準備）	33,160	講演会会場費等	
合 計	769,000	合 計	577,261		

これから必要な経費は、講演会、プラン提案事業・街頭宣伝等

チラシはあと、3000枚、リーフレット6000枚あります。

5. その他

(1) 県に対する「公開質問状」の提出の件

7月20日 「公開質問状」を提出、回答と知事との対話を要請

8月18日 県より回答 別紙（説明責任を果たしているものとは言えない。）

9月14日 「公開質問状」再提出 再度回答と知事との対話を要請。

(2) 「原発・核燃施設に頼らない暮らしをつくる」プラン提案事業について

11月上旬を目途に原案提示、協議にむけて、プラン提案者による作業が進んでおります。

プラン提案者から、原稿（レジメ）を提出して頂き、提案者会議を計画。

3月頃までに提案集を完成予定。

- ・平野了三共同代表にプラン提案事業の編集責任者をお願いしました。他共同代表、事務局と連携を取りながら、プラン作成を進めます。

(3) 各種会議の開催について

コロナ感染の中で全員が集まったの会議が難しくなっていますので、

オンライン（Zoom）会議を中心に開催していきます。

- ・Zoomのホストは原告団のZoom契約を利用し、伊藤・下館（原告団事務局）対応。
- ・他の団体でも、ホスト可能であれば、ご協力をお願いします。

(4) その他